

【青少年健全育成関連施策】

平成 3 0 年度事務事業評価表（改革版）

目 次

・問題行動対策事業	・ ・ ・ ・ ・	1
・いじめ・不登校対策事業	・ ・ ・ ・ ・	4
・「心の教室」相談事業	・ ・ ・ ・ ・	7
・スクールカウンセラー事業	・ ・ ・ ・ ・	8
・スクールソーシャルワーカー事業	・ ・ ・ ・ ・	9
・子ども会育成事業	・ ・ ・ ・ ・	1 2
・成人式開催事業	・ ・ ・ ・ ・	1 6
・発明教室開設事業	・ ・ ・ ・ ・	1 7
・青少年のための市民会議補助金	・ ・ ・ ・ ・	1 9
・青少年キャンプ村事業	・ ・ ・ ・ ・	2 1
・青少年文化賞顕彰事業	・ ・ ・ ・ ・	2 4
・ヤング・子育て相談事業	・ ・ ・ ・ ・	2 8

事業名：問題行動対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	—	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果
対象（誰、何に対して事業を行うのか）
・児童生徒、保護者及び教育関係者
手段（事務事業の内容、やり方）
・専任指導員、少年育成委員を配置し巡回街頭指導等を行う。 ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会などにより関係機関の連携を図る。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	巡回街頭指導実施回数	回	449	450	440	440
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	17	17	17	17
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	48	43	48	43
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,598	5,041	5,406	5,212
正職員人件費 (B)		千円	5,823	5,753	5,777	5,792
総事業費 (A+B)		千円	10,421	10,794	11,183	11,004

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・巡回街頭指導の実施 ・祭典巡回指導の実施 ・江別市指導連絡会の開催	・専任指導員等報酬：4,815千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

平成30年度 校外生活のきまり

保護者の皆様へ

1. 児童生徒の校外生活について、健全育成という観点で、行動など注意深く見守りください。また、社会生活のマナーなどについても大人自ら手本を示してください。
2. 市内の各小中学校では、地域や学校の行事等に応じて、細かなきまり等が提示されることもありますので確認の上ご指導ください。

外出について

1. 出かけるときは、行き先、目的、帰る時刻を家の人に告げてから外出する。
2. 外出時刻は、

月	小学生	中学生
4～9月	午後6時まで	午後7時まで
10月		午後6時半まで
11～2月	午後5時まで	午後6時まで
3月		午後6時半まで

※ 保護者と一緒のときは、保護者の判断による。
尚、学校独自の取り決めもあるので、その際は、学校の「きまり」を守る。

3. 服装・身だしなみは、小中学生らしさを心がける。
4. 登下校の途中で、買い物や飲食はしない。
5. ゲーム場やゲームコーナー、ボウリング場、カラオケボックス、インターネットカフェは、保護者など大人の人と一緒に利用できない。
- 映画には、3年生以下は、必ず保護者など大人の人と一緒にいく。4年生以上が外出時刻を超える時は、保護者など大人の人と行く。
6. 友達を泊めたり、友達の家泊まりしない。

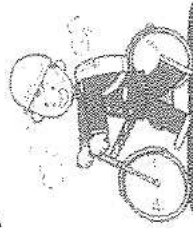
遊びについて

1. 危険な場所(工事現場、線路、河川など)へ近づかない。また、危険な遊び(花火の製造、火遊び、人や動物を標的にするエアガン等の遊具)はしない。
2. 花火などは、時間、場所、安全を考慮して近所に迷惑をかけるないように、保護者など大人の人と一緒に行う。
3. 魚つりに行くときは、保護者と一緒にいく。



交通安全について

1. 道路では遊ばない。
また、信号を守り、常に車や左右の道路状況に注意するなど安全確認をする。
2. 自転車の利用については、歩行者や車に迷惑をかけるないように交通ルールやマナーを守る。
道路を横断する場合には、必ず左右を確認してから安全に渡る。



その他

1. 不審者に十分注意し、何かあった場合は、近くの大人や子ども110番の家などに助けを求め、直ぐ警察や学校へ通報する。
2. 市民体育館などの公共施設を使うときは、ルールやマナーをしっかり守って利用する。
3. 大型店や商店への出入りは、用事のあるときだけにし、むやみに立ち入りしない。
○ 万引きは犯罪であり、絶対しない。
○ お客さんに迷惑となる行動はしない。
4. インターネット等を利用する場合は、フィルタリングをかけるなど家庭のルールを決めて利用する。

‘えべつスマート4 RULES (ルール)’

※江別市小・中学生のスマホ・ネット等の利用に関する共通ルール

- ＜ルール1＞ 1日2時間以内とし、友だちとのメールなどのやり取りは、夜9時以降は行わない。
- ＜ルール2＞ 悪口や人を傷つける内容は書き送らない。送る前に、しっかり確認する。
- ＜ルール3＞ 名前・住所・学校名・顔写真などの個人情報類は、絶対に投稿・公開しない。
- ＜ルール4＞ 困った時は一人で悩まず、保護者や先生などの大人に相談する。

困ったことや相談ことは・・・

江別市いじめ不登校相談 382-4044
江別市少年指導センター 384-7830
江別市家庭児童相談 381-1236

江別市教育委員会少年指導センター
TEL 384-7830

平成29年度 青少年健全育成標語 入賞作品

「手と手七手 みんなできづく 仲間の輪 みんな仲良し 毎日笑顔」	4年	中尾 華洋 さん
「勇気を出して、言ってみよう、一言だけで変わるはず。」	6年	筒井 美穂 さん
「その言葉その行動自分がされたらどう思う。相手の気持ち考えよう」	4年	山崎 心登 さん
「少しでも 小さなことでも話そうよ 小さなふれあい 大きな一歩」	2年	瀬谷 栄佑 さん
「安心な地域社会に見守られ 笑顔溢れる江別っ子 豊かな暮らしつまでも」	1年	土橋 玲果 さん
「大丈夫？ きみの笑顔が見たいから 勇気をしほり 声かける」	1年	吉田 悠作 さん

江別市少年育成委員は こんな活動をしています

『時に優しく 時に厳しく 皆さんを見守っています』



ただいま巡回中！

地域を巡回する中で子どもたちへ「挨拶」を中心に声かけを行い、非行や危険行為の予防に努めます。

非行・犯罪
見逃しません！

非行や犯罪行為があったときは、状況を判断し通報、もしくは優しく諭します。

きみの力になります！

子どもから相談を受けた時は親身になって相談に応じ、助言します。

有害図書から
守ります！

コンビニや書店、レンタルビデオ店、自動販売機等で有害図書類を点検し、必要時には通報します。

- 毎日市内各所を見回っています。(土日祝日を除く)
見回り時間は夏季15:00～19:00、冬季15:00～18:00です。
その他夏の夜間見回り、祭典見回り、夜間緊急見回りをしています。
- 市内の公園、商店、公共施設、子供たちが集まりそうな場所、河川など不審者が出没した場所や危険箇所を中心に、腕章をつけて見回っています。
- 育成委員は、教育委員会から依頼を受け、江別、野幌、大麻のそれぞれの地域で各10名程度が活動しています。

※ 育成委員は腕に緑色の腕章をつけて

皆さんの地域を見守っています。

事業名：いじめ・不登校対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	—	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・いじめ・不登校の専用窓口を開設し、専任指導員が教育相談に対応する。
- ・青年センターにスクールカウンセラーを配置し、カウンセリングにあたる。
- ・不登校児童生徒を対象に、すぼっとケア事業（学習支援）とケア事業（体験活動）を実施する。
- ・いじめ問題について、児童生徒が直接市教委へ訴える心のダイレクトメール事業を実施する。
- ・いじめ問題をテーマの一つとして中学生サミットを開催する。
- ・ネットパトロール・情報モラル普及啓発資料を配布する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・いじめが解消される。
- ・不登校の児童生徒が再登校できるようになる。

指標・事業費の推移

	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	90	108	90	108
活動指標 1	いじめ・不登校相談件数	件	40	37	40	40
活動指標 2	すぼっとケア・ケア事業開催回数	回	70	114	117	117
成果指標 1	いじめの解消率	%	100	100	100	100
成果指標 2	再登校率	%	21	32	21	32
事業費 (A)		千円	3,646	5,881	5,903	5,543
正職員人件費 (B)		千円	7,376	7,287	7,318	7,336
総事業費 (A+B)		千円	11,022	13,168	13,221	12,879

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・いじめ・不登校電話相談窓口開設 ・カウンセラーによる教育相談を実施 ・不登校児童生徒を対象に、すぼっとケア事業及びケア事業を実施 ・心のダイレクトメール事業を実施 ・中学生サミット開催 ・ネットトラブル対策・啓発の実施	専任指導員等報酬：4,176千円 心のダイレクトメール事業経費：40千円 中学生サミット開催経費：267千円 ネットパトロール経費：389千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	ネットパトロールの実施回数を見直す。	減少	維持	増加
維持				
見直し		○		
新規				
休止				
廃止				
その他				

平成30年度 江別市適応指導教室

すぽっとケア

不登校支援

実施日

火曜日

水曜日

木曜日

時間 10:00～12:00

場所

江別市青年センター

江別市緑町西2-11(飛鳥山公園内)

TEL011-383-1221



お問い合わせ

各学校または 江別市教育委員会 教育支援課

TEL011-381-1409

「すぽっとケア」の日課

10:00～10:05 朝の会

・予定の確認、活動目標設定

10:05～11:15 学習の時間

・自学自習 自分の計画で自習
・支援授業 支援員による授業
・個室学習 個室で支援員と学習

11:20～11:55 交流活動
集団活動

・スタッフとの交流
・トランプ等のゲームや軽スポーツ

ポーン

体験活動

ケア事業

- 料理教室
- 高校見学
- 健康教室
- 陶芸教室 etc.

すぽっと読書

毎月 1、2 回
読書に親しむ日
10:00～12:00
場所 情報図書館
2 F 視聴覚室集合

通級までの流れ

1 入級相談

・学校、教育委員会へ

2 体験通級

・見学、支援内容の紹介

3 親子面談

・担当者と面談相談

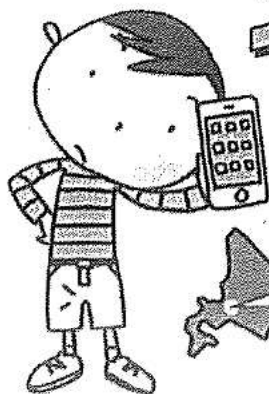
4 申請書提出

・「入級届」を学校へ提出

5 通級開始

- 持ち物 上靴、学習用具
 - 服装 自由
 - 月1回 「ふれあい」の発行
- 支援スタッフ
専任指導員3名(学級経験者)
専任相談員2名

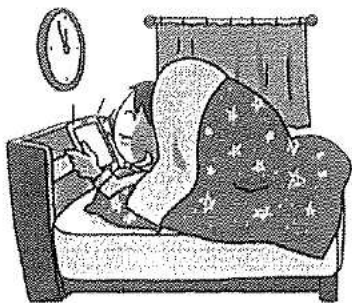
みんなで考えよう! ネットの正しい使い方



スマート4 RULES ルール

心とカラダと未来を守るためのスマホ・ネットの4つのルール

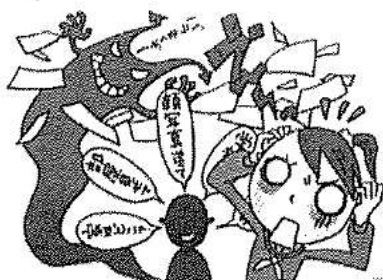
Rule 1 1日2時間以内とし、友だちとのメールなどのやり取りは、夜9時以降は行わない。



Rule 2 悪口や、人を傷つける内容は書き込まない。送る前に、しっかり確認する。



Rule 3 名前・住所・学校名・顔写真などの個人情報、絶対に投稿・公開しない。



Rule 4 困った時は一人で悩まず、保護者や先生などの大人に相談する。



中学生サミットで宣言(平成29年11月17日)

保護者にできること

ネットトラブルの未然防止には、ネットを安全に利用できるような家庭でのルールづくりが非常に重要です。ぜひ、ネットトラブルを防ぐため、ご家庭におけるルールづくりについてお子様と話し合ってください。

インターネットに潜む危険から子どもたちを守るためには家庭での取組みが大切です

【ルール例】

- ・子どもにスマホや携帯ゲーム機などの情報機器を買い与える際には、必ず親子で話し合い、使用時のルールを決める。
- ・スマホや携帯ゲーム機などの情報機器へのフィルタリングは、保護者の責任で必ず行う。
- ・スマホなどの使い方について、保護者自身がマナーを守り、手本となる使い方を示す。
- ・親子での会話を大切に、子どもが困ったことがあれば、すぐに相談できる家庭環境を作る。



江別市教育委員会・江別市PTA連合会

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト プログラム	
開始年度	平成10年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果			
対象（誰、何に対して事業を行うのか）			
・児童、保護者及び教育関係者			
手段（事務事業の内容、やり方）			
・相談員（カウンセリング講座修了者や教員経験者など相談業務に携わった経験者）を学校に配置し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。			
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			
・児童、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。			

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	相談員配置学校数	校	19	18	18	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,322	5,195	5,322	5,195
成果指標 1	延べ相談件数	件	15,246	15,120	15,246	15,120
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	5,558	5,381	5,655	5,650
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	7,111	6,915	7,196	7,194

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	小学校17校に心の教室相談員を配置し、児童、保護者、教育関係者の悩みや相談に対応	・心の教室相談員報酬：5,570千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し			○	
新規				
休止				
廃止				
その他				

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	平成 8年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

手段（事務事業の内容、やり方）

・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を配置し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬は北海道負担）。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。

指標・事業費の推移

	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	配置学校数	校	9	9	9	9
活動指標 2	延べ相談時間	時間	1,008	1,059	1,008	1,059
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,092	1,176	1,092	1,176
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	81	81	81	63
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	1,634	1,615	1,622	1,607

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・中学校8校、小学校1校にスクールカウンセラーを配置し相談業務にあたる	・配置校消耗品費：63千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				
	改革方向性（成果）	向上	維持	低下

事業名：スクールソーシャルワーカー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	平成23年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
		補助	補助金

事務事業の目的と成果
対象（誰、何に対して事業を行うのか）
・児童生徒、保護者及び教育関係者
手段（事務事業の内容、やり方）
・問題を抱える児童生徒の置かれている環境への働きかけ ・学校や関係機関との連携や調整 ・保護者や学校等に向けて、予防的な情報提供、相談支援
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
・児童生徒、保護者の抱える問題が解決される。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	9,015	8,811	8,683	8,606
対象指標 2						
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	2	2	2	3
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	1,320	845	1,320	1,320
成果指標 1	支援ケース件数	件	103	104	103	125
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	4,455	4,460	4,508	6,868
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,544
総事業費 (A+B)		千円	6,008	5,994	6,049	8,412

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・スクールソーシャルワーカーが、教育分野に関する知識に加え、社会福祉等の専門的な知識や経験を用いて、問題を抱える児童に対して相談支援を行う	スクールソーシャルワーカー報酬：6,686千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	スクールソーシャルワーカーを1名増員する（3名体制）。	減少	維持	増加
維持				
見直し				○
新規				
休止				
廃止				
その他				

スクールソーシャルワーカー(SSW)に ご相談下さい

スクールソーシャルワーカーは家庭と小中学校で
起こる様々な問題をサポートします。

学校に
行けない...

子育てに
不安がある

関係機関に相談
したい

学校

不登校や友人関係で悩んでいる。
学習が身につかない...

家庭

子育ての悩みや生活リズムの乱れに
ついて相談したい...

連携

学校や専門機関等と連携しています

相談

電話、面談、家庭訪問など
いろいろな相談に応じます

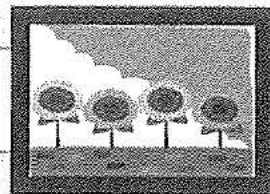
社会福祉士・精神保健福祉士が
相談に応じます

江別市教育委員会 教育支援課

電話 011-381-1409

住所 江別市高砂町24番地の6

こんなことで困っていませんか？



家庭で...

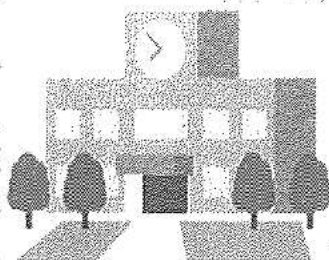
- ・友だち関係に困っている
- ・生活リズムが乱れている
- ・親子の関係が安定しない
- ・落ち着きがない
- ・勉強に集中できない

学校で...

- ・友人とのトラブルが多い
- ・登校を渋る...
- ・授業に集中できない
- ・クラスや集団に馴染めない...
- ・いじめられているのかも...

学校や関係機関と連携して、状況の改善を図ります

- ・江別市健康福祉部子育て支援課
- ・江別市子ども発達支援センター
- ・江別市社会福祉協議会、病院
- ・児童相談所・警察・少年サポートセンターなど



不登校支援と連携しています

適応指導教室「すぽっとケア」で、
子ども達と一緒に活動しています

お気軽にご相談下さい

つなげるこころ つながる支援
ご相談は江別市教育委員会 教育支援課
スクールソーシャルワーカーまで
江別市高砂町24-6 TEL 011-381-1409



事業名：子ども会育成事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略	
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	昭和36年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果
対象（誰、何に対して事業を行うのか）
江別市子ども会育成連絡協議会（江別、野幌、大麻・文京台地区子ども会）
手段（事務事業の内容、やり方）
江別市子ども会育成連絡協議会が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と各地区育成会の行う活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、補助金を交付する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
青少年の健全育成を図ることを目的とした各地区子ども会事業への参加者数が増え、活動が活発化する。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	子ども会の数	団体	3	3	3	3
対象指標2						
活動指標1	補助金額	千円	878	878	878	758
活動指標2						
成果指標1	子ども会活動への地域住民の参加延べ数	人	303	314	330	325
成果指標2	子ども会活動の取り組み数	件	40	39	40	40
事業費 (A)		千円	878	878	878	758
正職員人件費 (B)		千円	2,717	2,685	2,696	2,703
総事業費 (A+B)		千円	3,595	3,563	3,574	3,461

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	- 小学生相撲大会の開催 - 青少年キャンプ村への協力 - 小中学生かるた大会の開催 - ドッチビー体験会の開催 - スノーフェスティバルへの協力 - 各地区育成会との連携と協力 - ジュニアリーダー養成の支援 - 会議等の開催 - 活動団体の運営に対し補助金を支出	子ども会への補助金 758千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	各地区子ども会運営に対する補助金額	減少	維持	増加
維持	平成29年度：1地区18万円			
見直し	平成30年度：1地区15万円			
新規			○	
休止				
廃止				
その他	各地区子ども会と協議のうえ、子ども達への活動に影響がない範囲で適正金額を見直した。			

小学生相撲大会

平成29年7月15日(土) 10時から

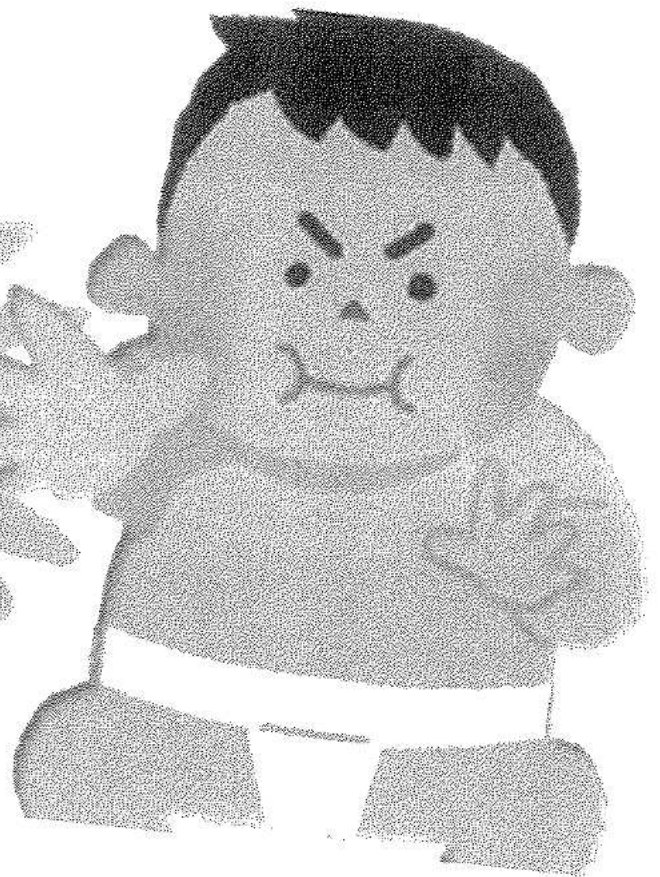
場所:江別市民体育館相撲場

※荒天の場合は7月16日(日)に順延します

各学年男女別の個人戦

女子・初心者の方も

大歓迎です!!



主 催

江別市子ども会育成連絡協議会

江別相撲連盟

共 催

市民体育大会実行委員会

社会を明るくする運動江別地区実施委員会



知ろう！ やってみよう！ ドッチビー体験会

平成29年11月11日(土) 9時から

場所：上江別小学校体育館

対象：市内在住の小学生以上及び
一般江別市内で活動する団体

ドッチビーとは？

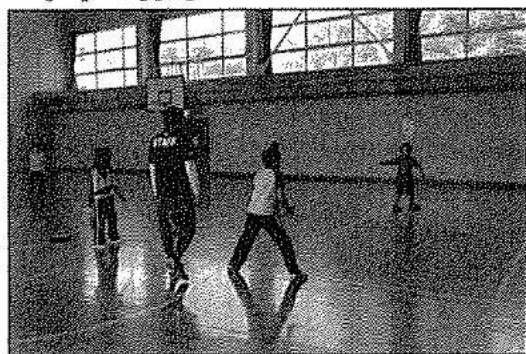
やわらかいフリスビーのような
「ディスク」を使うニュースポーツです。

年齢に関係なく一緒に楽しめます。

親子や友達同士でぜひご参加ください！



<去年の様子>



主催 江別市子ども会育成連絡協議会
江別市教育委員会
協力 北海道フライングディスク協会

<問い合わせ先>
江別市教育委員会生涯学習課青少年係
江別市高砂町24-6
TEL 381-1069
E-mail shogaigakushu@city.ebetsu.lg.jp

第9回 江別市 小中学生かるた大会



日時：平成29年12月16日（土）9時から

会場：江別市民体育館 柔剣道室

問合わせ先：江別市子ども会育成連絡協議会事務局 381-1069



主催
共協
協力

江別市子ども会育成連絡協議会
社会を明るくする運動江別地区実施委員会
江別江盛かるた倶楽部



事業名：成人式開催事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	昭和33年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	行事イベント補助

事務事業の目的と成果
対象（誰、何に対して事業を行うのか）
成人のつどい実行委員会 新成人
手段（事務事業の内容、やり方）
・新成人が大人になったことを自覚する場を提供するため、新成人となる実行委員を募集し、内容などを企画したつどいを実施する。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、江別市成人のつどい実行委員会に対してアトラクション出演謝礼、交歓会景品など成人のつどい開催に要する経費について補助金を支出する。
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）
「成人のつどい」への参加を契機に、公民としての権利と義務を再認識し、自律ある社会人として自覚を促す。

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	実行委員数	人	5	9	6	6
対象指標 2	新成人数	人	1,440	1,439	1,205	1,356
活動指標 1	補助金額	千円	220	220	220	220
活動指標 2						
成果指標 1	成人のつどい参加者数	人	952	935	840	909
成果指標 2	参加率	%	66.1	64.9	70	67
事業費 (A)		千円	486	500	505	502
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,815	2,801	2,816	2,819

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・実行委員の募集 ・実行委員会の開催 ・成人対象者の抽出 ・案内葉書の作成・発送 ・しおり・封筒の作成 ・成人のつどい（式典・交歓会）の開催 ・実行委員会に対し補助金を支出	成人のつどいプログラム等印刷費 62千円 会場使用料 133千円 案内状発送料 87千円 実行委員会への補助 220千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持		○	
	低下			

事業名：発明教室開設事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略	
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	平成 5年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果			
対象（誰、何に対して事業を行うのか）			
江別市少年少女発明クラブ			
手段（事務事業の内容、やり方）			
・小中学校への周知や市広報などを通して参加者を募集し、専任指導員のもとのづくり教室を開講する。 ・「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき、発明教室を円滑に運営する江別市少年少女発明クラブに対し補助金を支出する。			
意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			
江別市少年少女発明クラブが開講する発明教室に子ども達が参加することにより、自らの手で作り上げることへの関心を高め、想像力を養うことと、集団活動や体験学習の経験を通して、豊かな創造性を身に付ける。			

指標・事業費の推移						
	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	対象クラブ数	団体	1	1	1	1
対象指標 2						
活動指標 1	補助金額	千円	581	606	581	581
活動指標 2	開催回数	回	30	32	24	24
成果指標 1	作品展等応募、出品数（市内、全道、全国）	件	45	35	40	40
成果指標 2	延べ活動人数	人	420	337	480	480
事業費 (A)		千円	581	606	581	581
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	2,317
総事業費 (A+B)		千円	2,134	2,140	2,122	2,898

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・4月から1月：製作教室 ・夏冬の作品展展示会 ・活動団体の事業に対し補助金を支出	発明教室実施団体への補助 581千円

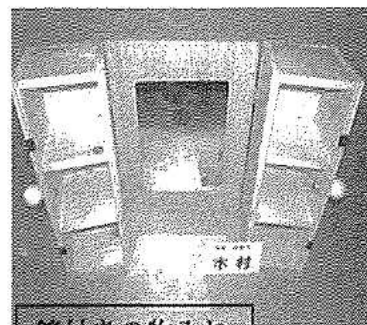
改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	作品製作に使用する材料の収納場所の設置等を行い、より安全で機能的な教室環境を整備する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				
		改革方向性成果	向上	維持
			低下	

平成30年度 発明(工作)クラブ

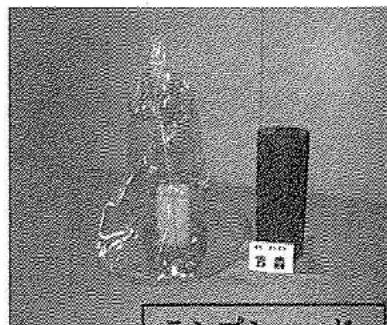
会員募集



帽子や手ぶくろをかけるもの



鏡付きの物入れ



ランプシェード

申込先

江別市教育委員会生涯学習課

江別市少年少女発明クラブ

事務局 TEL. 381-1069

募集 4月に 小3年~中3年になる人

開講 4月7日(土) 13:30

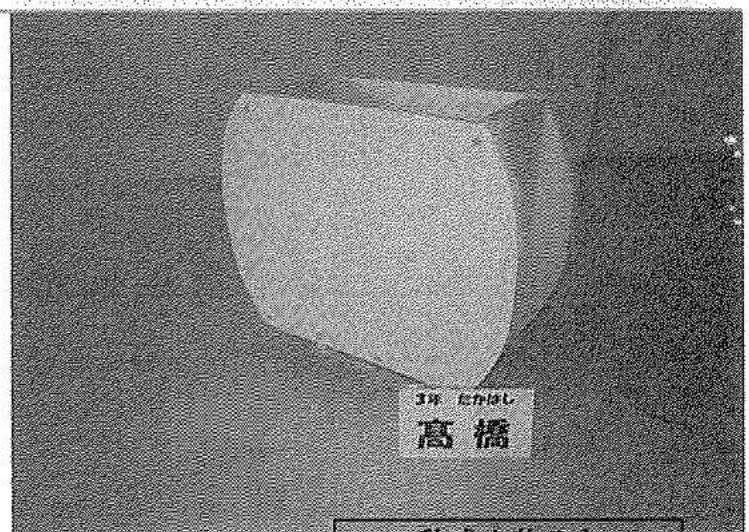
場所 大麻東小学校 発明クラブ教室

あったらいいな ほしいな

と思うものを

いっしょに

つくいませんか



3年 にかほし
高橋

い動式小物入れ

事業名：青少年のための市民会議補助金

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	昭和55年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	団体運営補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市青少年のための市民会議

手段（事務事業の内容、やり方）

江別市青少年のための市民会議が取り組む、青少年の健全育成等の啓発活動や青少年の非行防止活動並びに有害環境の点検活動に対し、「江別市教育振興事業補助金交付規則」に基づき活動費の一部を補助する。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別市青少年のための市民会議が行う活動が充実し、青少年を取り巻く環境が向上するようになる。

指標・事業費の推移

	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市民会議の会員数（個人）	人	215	198	200	190
対象指標2	市民会議の会員数（団体）	団体	58	58	58	57
活動指標1	補助金額	千円	129	129	129	129
活動指標2						
成果指標1	主催事業協力者数	人	100	91	85	91
成果指標2	非行防止標語応募件数	件	2,219	2,258	2,300	2,612
事 業 費 (A)		千円	129	129	129	129
正職員人件費 (B)		千円	2,329	2,301	2,311	2,317
総 事 業 費 (A+B)		千円	2,458	2,430	2,440	2,446

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・青少年健全育成啓発などの標語募集 ・少年の主張石狩地区大会江別代表者の選考 ・青少年善行賞の選定、表彰 ・街頭啓発の実施 ・会議等の開催 ・市民会議に対し補助金を支出	・市民会議への補助 129千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）	向上			
	維持		○	
	低下			

平成29年度 青少年健全育成

標語募集

!!

有害サイトの利用防止、命の重さ、

家族、友達との絆。。。。

あなたのメッセージを伝えてみませんか？

平成28年度 最優秀賞

「あなたの命は宝物、

自分の命を大切に。」

野幌小学校6年

上村 穂香さん

「気付いてよ 笑顔で隠す 悲しい目

あなたが救う ひとつの命」

立命館慶祥中学校2年

川合 春菜さん

「支え合い 一緒に明日を 歩んでこう

頑張る君は 一人じゃない」

とわの森三愛高等学校1年 沢 侑乃さん

・インターネットによる
被害の防止

・家族のふれあい

・親などへの感謝

・命の大切さ

・自分を信じる力

・明るい未来の創造

思っていることや考えていることを、
友だちや家族と話し合って、
標語をつくってみませんか？

※交通安全標語は選考対象外です。



応募期間 7月3日(月)～8月31日(木)

江別市青少年のための市民会議

【事務局】教育委員会生涯学習課 ☎381-1069

事業名：青少年キャンプ村事業

生涯学習課 青少年係

政策	06 子育て・教育	戦略	
取組の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	昭和43年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内の小学校4年生から中学校3年生の児童・生徒

手段（事務事業の内容、やり方）

自然体験事業として日常の生活から離れ、自然豊かな環境の中で青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開設する。大学生、高校生からなるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

野外生活の楽しさを感じるとともに、異年齢との交流、及び集団生活を通して規律のある生活態度・生活技術を学び、子どもたちの協調性、社会性を高める。

指標・事業費の推移

	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標1	市内の小学校4年生から中学校3年生の児童および生徒数	人	6,720	6,113	5,848	5,753
対象指標2						
活動指標1	キャンプ村開催日数	日	5	5	5	5
活動指標2						
成果指標1	参加グループ数	グループ	115	95	125	125
成果指標2	青少年キャンプ村参加人数	人	678	548	700	700
事業費 (A)		千円	596	717	818	782
正職員人件費 (B)		千円	3,494	3,452	3,466	4,633
総事業費 (A+B)		千円	4,090	4,169	4,284	5,415

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	8月上旬に江別市森林キャンプ場において、青少年キャンプ村を1泊2日の日程で開設する。大学生、高校生からなるボランティアサークルの指導によりキャンプを行う。	生活指導員謝礼 336千円 バス借上げ料 376千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	本事業は、平成30年度で50周年を迎えるため、周年記念イベントの開催及び市内小中学校への周知方法を工夫し、参加人数を確保する。	減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

改革方向性（成果）

向上
維持
低下

○

第50回（平成30年度）青少年キャンプ村「こんがり王国」開設要項

- 1 目 的 自然に親しみながら、共同生活を通じて野外生活や集団生活の楽しさ、規律ある生活態度・生活技術を学んでもらい、協調性・社会性を高め、青少年の健全育成に資する。多様なプログラムを通して日常の家庭・学校生活では得られない「工夫から創造」の場面を直接体験することにより、形ではなく心の財産を形成する一助とする。
- 2 主 催 江別市教育委員会・江別市子ども会育成連絡協議会
共 催 江別市青少年サークル・江別市青少年活動協会
- 3 実施日 (1) 8月 6日(月)～8月 7日(火)の1泊2日
(2) 8月 7日(火)～8月 8日(水)の1泊2日
(3) 8月 8日(水)～8月 9日(木)の1泊2日
(4) 8月 9日(木)～8月10日(金)の1泊2日
(5) 8月10日(金)～8月11日(土)の1泊2日
※荒天の場合は、中止になることがあります。
- 4 場 所 江別市森林キャンプ場（西野幌928番地） TEL389-6493
- 5 対 象 江別市内に居住する小学4年生～中学生まで。
- 6 定 数 1日25グループ（1グループあたり5～8名が基本）
- 7 参加費 1人1,500円（食費、保険料、交通費、雑費など）
※ やむを得ない事情により、当日欠席される場合は、8/3（金）17:15までにご連絡いただければ全額を返金いたします。ただし、上記の期日を過ぎてからのご連絡は対応いたしかねますのでご了承ください。
- 8 受 付 平日8:45～17:15まで。
- 9 申 込 (1) 基本申込(5～8名(男女別々は必須)のグループでの申込)の場合
①「参加申込書」に参加費を添えて、7月20日（金）までに、教育委員会生涯学習課に申し込むものとする。
②基本申込数が定数（1日25グループ）に満たなく、申込責任者に抽選会の連絡がなかった場合は、第1希望日で参加決定したものとする。
③基本申込数が定数（1日25グループ）を超えた場合は、抽選対象グループの申込責任者に連絡し、代表1名の出席により抽選会を実施する。
ア) 抽選会日時 7月30日（月）午前9時から
イ) 抽選会場所 教育庁舎大会議室
(2) 少人数申込(1～4名(男女別々は必須)の少人数グループでの申込)の場合
①少人数申込は以下の要件をご了承ください、「参加申込書」に参加費を添えて、7月20日（金）までに、教育委員会生涯学習課に申し込むものとする。
ア) 基本申込（5～8名）による参加希望を優先する。
イ) 基本申込（5～8名）による参加日確定後、定数（1日25グループ）に満たない実施日から参加日を決定する。
ウ) 基本申込（5～8名）による参加数が定数（1日25グループ）を超えた場合は、第2希望日から参加日を決定する。
エ) 他グループと混成して5～8名グループを教育委員会が編成する。
②少人数申込数が、基本申込参加日確定後の残数に満たなく、申込責任者に抽選会の連絡がなかった場合は、第1希望日で参加決定したものとする。

③少人数申込数が、基本申込参加日確定後の残数を超えた場合は、抽選対象グループの申込責任者に連絡し、代表1名の出席により抽選会を実施する。

ア) 抽選会日時 7月30日(月)午前11時から

イ) 抽選会場所 教育庁舎大会議室

10 概要

1日目: 教育庁舎裏の「つばめ公園」に13時10分までに集合。点呼の後、バスで林木育種場を経由し、キャンプ場へ移動。炊事体験等のプログラムを経てテントに宿泊。

2日目: 午前のプログラム終了後、バスで「つばめ公園」に戻り、11時45分頃解散。

11 持ち物

(1) 個人で用意する物

割れない皿・コップ、スプーン、箸、寝袋、洗面用具、筆記用具、帽子、ラジオ体操カード、ウインドブレーカー等の防寒着、雨合羽、着替え(長袖、長ズボン)、米1合、軍手、新聞紙、うちわ

(2) 基本申込グループで用意する物【グループで持って来る人を決める】

かいちゅう電灯(2個)、食材【8名分の目安=ジャガイモ(中2ヶ)、にんじん(中3本)、玉ねぎ(中2ヶ)、カレールウ(適量)、カレーをおいしくする食材】

(3) 少人数申込グループで用意する物【グループで持って来る人を決める】

かいちゅう電灯(1個)、食材【4名分の目安=ジャガイモ(中1ヶ)、にんじん(中1本)、玉ねぎ(中1ヶ)、カレールウ(適量)、その他カレーをおいしくする食材】

※1 自然体験を目的としたキャンプであるため、キャンプ場内に自動販売機の設置がありますが購入は禁止します。

※2 おやつ、飲み物、携帯電話、スマートフォン、マンガ本、ゲーム機、カメラ、レーザーポインター等は持ってこないでください。(持ってきた場合、退村時までお預かりします。)

※3 持ち物には必ず氏名をつけてください。

※4 食材は切ってこないでください。

※5 夕食はカレーライス、朝食は煮込みうどんを作ります。カレーライスに入れる「肉」、煮込みうどんの「食材」は教育委員会で用意します。

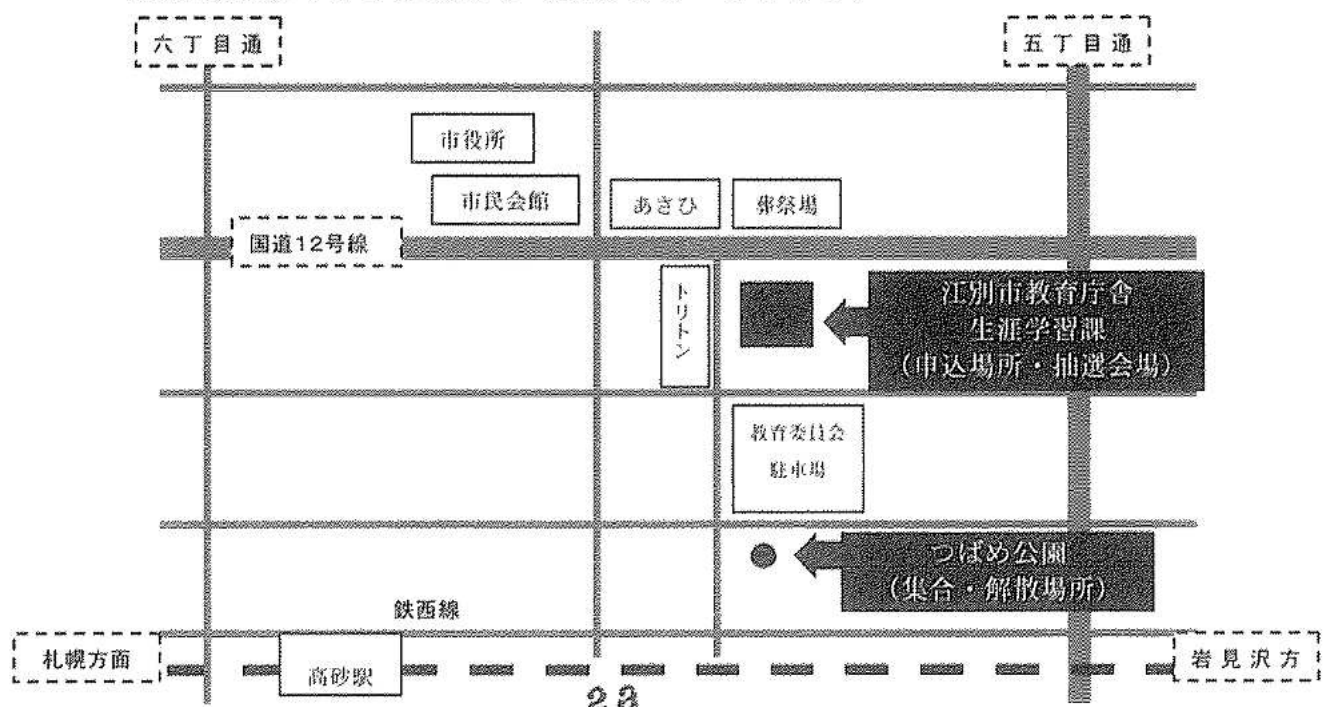
12 避難

悪天候等により安全が確保できないと判断した場合は緊急避難を開始します。

13 問合せ

教育委員会生涯学習課青少年係

江別市高砂町24番地の6 (TEL 381-1069)



事業名：青少年文化賞顕彰事業

生涯学習課 生涯学習係

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	オブジェクト	
		プログラム	
開始年度	昭和62年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学生以上24歳以下の市民

手段（事務事業の内容、やり方）

各種コンクール等において優秀な成績をおさめるなど、市内における芸術及び文化の振興に貢献した青少年に対し各賞を贈る。贈呈式は青少年スポーツ賞と共同開催している。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

創造性豊かな芸術、文化に対する意識を高める。

指標・事業費の推移

	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	小学生以上24歳以下の市民	人	21,073	20,641	20,641	20,273
対象指標 2						
活動指標 1	審査会開催回数	回	3	3	3	3
活動指標 2						
成果指標 1	受賞者数	人	22	23	14	13
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	373	365	209	209
正職員人件費 (B)		千円	776	767	770	772
総事業費 (A+B)		千円	1,149	1,132	979	981

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	・教育機関、文化団体等に対し該当者の推薦依頼を行い、推薦があった中から表彰基準を満たしたものについて、受賞歴やコンクールの内容等を精査し庁議において審議の上、表彰者を決定する。	・盾代 209千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性		減少	維持	増加
維持				
見直し				
新規			○	
休止				
廃止				
その他				

栄誉を讀えて

青少年文化賞・スポーツ賞

文化奨励賞・スポーツ奨励賞・教育委員会賞



団体

大麻泉小学校リコーダー同好会(平成28年度部長)

第36回日本リコーダーコンテスト小学生の部台風の旗・五福島以上の旗 銅賞



江別太小学校合唱団

第84回NHK全国学校音楽コンクール全国コンクール小学校の部優良賞
第95回TBSこども音楽コンクール小学校合唱部門第2位



まつやま しょう
松山 泰斗

立命館慶祥高3年

第1回日本バレーボール選手権大会
立命館大学付属立命館高等学校
男子バレーボール部第2位



かわさき しゅん
川上 伸一

北翔大3年

第1回日本バレーボール選手権大会
立命館大学付属立命館高等学校
男子バレーボール部第2位



いしだ あい
石田 結愛

豊後小3年

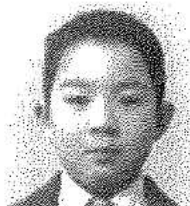
第1回日本バレーボール選手権大会
立命館大学付属立命館高等学校
男子バレーボール部第2位



やまね ゆい
山根 結

立命館慶祥中2年

第29回ライオンズ国際平和
杯ボクサー・コンテスト
優秀賞



いまい しゅん
井伊 俊介

大府小1年

2017年全国あんさんコン
クール
小学1年生以下の部第3位



かたしほ ひな
片所 陽菜

豊後小3年

第1回日本バレーボール選手権大会
立命館大学付属立命館高等学校
男子バレーボール部第2位

文化賞

全国規模の各種コンクールなどで3位以内または
通算2年以上入賞

文化奨励賞

全国規模の各種コンクールなどで1位

個人

村田 アグネス 北翔大4年

さつばろ アーティスト 2017

University Student Art Competition 大賞

藤澤 世良 北翔大3年

第27回日本クラシック音楽コン
クール地区本選会優秀賞

原 いこい 立命館慶祥高1年

第21回全道高等学校持旗新人大会優勝

三浦 愛乃 豊後小4年

第7回日本バレーボール選手権大会
立命館大学付属立命館高等学校
男子バレーボール部第2位

堀内 凜子 豊後小3年

第7回日本バレーボール選手権大会
立命館大学付属立命館高等学校
男子バレーボール部第2位

酪農学園大学近代演劇部
劇団雲夢

札幌学生対校演劇祭第8章
芝居劇場最優秀賞

大府高等学校吹奏楽部
(クラリネットアンサンブル)

第48回北海道アンサンブルコン
クール金賞

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

第53回全道高等学校将棋選手権大
会女子団体優勝

立命館慶祥高等学校
女子囲碁・将棋同好会

★ 青少年文化賞・スポーツ賞 ほか

スポーツ賞

全国規模のスポーツ大会などで3位以内または通算2年以上入賞、全国記録の更新

個人



不藤 祐太
江別高3年
第35回全日本高等学校バレーフティング選手権大会男子74kg級第3位



吉田 梨緒
立命館慶祥高2年
秋武宮臨杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会女子走部第3位



臼井 文音
立命館慶祥高2年
秋武宮臨杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会女子100m第2位



田邊 ジョー
立命館慶祥高3年
秋武宮臨杯第70回全国高等学校陸上競技対校選手権大会男子400mハードル第3位



大久保 ひかり
文京台小6年
第40回全日本小学生バレーフティング選手権大会女子74kg級第3位



鶴岡 瑚子
大府中3年
第47回全日本中学生バレーフティング選手権大会女子74kg級第3位



畑 知風
大府中3年
第47回全日本中学生バレーフティング選手権大会男子74kg級第3位



大谷 直希
とわの森三愛高1年
第47回全日本中学生バレーフティング選手権大会男子74kg級第3位

スポーツ奨励賞

全国規模のスポーツ大会などで1位

個人

小鹿 亜美
とわの森三愛高3年
第56回日本BC杯争奪北海道インドアソフトテニス選手権大会一般女子優勝(ペア)

本吉 花鈴
とわの森三愛高3年
第56回日本BC杯争奪北海道インドアソフトテニス選手権大会一般女子優勝(ペア)

佐藤 竜斗
とわの森三愛高2年
第47回北海道高等学校新人ソフトテニス選手権大会男子シングルス優勝

海谷 燎摩
野幌中3年
第40回北海道ジュニア新体操選手権大会新体操男子Aクラス個人総合第1位

坪内 咲良
江陽中1年
第24回北海道新体操大会新体操中学女子二種目の部第1位

田中 晨敬
中央小4年
第24回北海道新体操大会新体操小学男子二種目の部第1位

牧野 太一
野幌中1年
第13回東北・北海道ブロックジュニア武術太極拳競技大会男子長拳B長器械(棍術・槍術)第1位

谷藤 蒼矢
野幌若葉小4年
第13回東北・北海道ブロックジュニア武術太極拳競技大会男子初級長器械(棍術)第1位

上田 晃大
江別第二小3年
第28回北海道武術太極拳連盟交流大会男子入門長拳部第1位

鈴木 さくら
大府小3年
第28回北海道武術太極拳連盟交流大会女子入門長拳部第1位

土屋 七豊
大府小3年
第28回北海道武術太極拳連盟交流大会ジュニア男子初級剣術部第1位

前田 結奈
江別太小6年
第30回南部忠実記念陸上競技大会小学女子100m第1位

阿部 紗奈
大府泉小6年
第36回北海道小学生バドミントン大会6年生以下女子ダブルス優勝

福井 小通
上江別小5年
第40回全国JOC夏季水泳競技大会北海道予選会女子10歳以下50mバタフライ第1位

三ツ瀬 陸
大府泉小5年
第37回少林寺拳法北海道大会規定単独演武小学生6級以下4級の部最優秀賞(第1位)

相澤 芽依
大府泉小2年
第55回北海道空手道選手権大会小学一年生女子組手の部優勝

岩瀬 柚香
中央小1年
第55回北海道空手道選手権大会小学一年生女子組手の部優勝

とわの森三愛高等学校
平成29年度全道高等学校体育大会バドミントン学校対抗女子団体優勝

とわの森三愛高等学校
平成29年度全道高等学校体育大会バドミントン学校対抗女子団体優勝

とわの森三愛高等学校
平成29年度全道高等学校体育大会バドミントン学校対抗女子団体優勝

とわの森三愛高等学校
平成29年度全道高等学校体育大会バドミントン学校対抗女子団体優勝

とわの森三愛高等学校
平成29年度全道高等学校体育大会バドミントン学校対抗女子団体優勝

とわの森三愛高等学校
平成29年度全道高等学校体育大会バドミントン学校対抗女子団体優勝



対雁バルタンズブルーウイング

第26回青森県全道小学生ドッジボール選手権大会 優勝

団体

とわの森三愛高等学校
体操競技部男子

平成29年度全道高等学校体育大会
体操競技二部男子団体総合第1位

北翔大学スボルクラブ

第40回北海道ジュニア体操競技選手権大会体操競技女子団体Bクラス第1位

グリーク・アール
Siegr GクラブAチーム

第56回北海道新体操選手権大会新体操女子ジュニアの部団体第1位

北海道新体操クラブ江別

第40回北海道ジュニア新体操選手権大会新体操男子団体の部第1位

立命館慶祥中学校
バントワリング部

第5回バントワリング大会
スト北海道大会中学校の部金賞
なこて2位 3位

中央中学校卓球部

平成29年度北海道中学校体育大会
第47回北海道中学校卓球大会男子団体優勝

中央中学校男子バレーボール部

平成29年度北海道中学校体育大会
第47回北海道中学校バレーボール大会優勝

江別中央ジュニアバレーボールスポーツ少年団「江別中央G」

ファミリーマートカップ第37回全日本バレーボール小学生大会南北海道大会優勝

野幌空手道スポーツ少年団

第55回北海道空手道選手権大会小学生高学年男子団体組手の部優勝

元江別レッド・ソルジャー

第27回全日本ドッジボール選手権北海道大会チャレンジ部門低学年エンジョイの部優勝

元江別レッド・スター

第27回全日本ドッジボール選手権北海道大会チャレンジ部門低学年エンジョイの部優勝

LITTLE SONIC

第27回全日本ドッジボール選手権北海道大会チャレンジ部門低学年ファイターの部優勝

教育委員会賞

全道規模の各種コンクールやスポーツ大会など2位 3位

文化 個人

平井 龍之介 立命館慶祥高3年

第35回北海道高等学校数学コンテスト北海道新聞社賞・北海道教育学会教育会高等学校部会長賞

松田 夏実 立命館慶祥高1年

第21回全道高等学校将棋新人大会準優勝
立命館慶祥中3年

猪股 豪哉 立命館慶祥中3年

第38回全国中学生選抜将棋選手権北海道大会準優勝

音楽

江別高等学校吹奏楽部

第62回北海道吹奏楽コンクール高等学校C編成の部銀賞

大府高等学校吹奏楽部

第62回北海道吹奏楽コンクール高等学校A編成の部銀賞

立命館慶祥高等学校

男子囲碁・将棋同好会
第53回全道高等学校将棋選手権大会男子団体準優勝

江別第一中学校吹奏楽部

第62回北海道吹奏楽コンクール中学校A編成の部銀賞

江別第二中学校吹奏楽部

第62回北海道吹奏楽コンクール中学校C編成の部金賞

立命館慶祥中学校囲碁・将棋部

文部科学大臣杯第13回小・中学校将棋団体戦北海道大会第3位

川田 翔 江別第二中2年

第40回全国JOC夏季水泳競技大会北海道予選会男子13〜14歳200m青泳第2位

高山 瑞希亜 江別第二中2年

第12回講道館柔道「形」北海道競技会投の形 部第2位

安藤 響音 中央中2年

平成29年度北海道中学校体育大会

第48回北海道中学校陸上競技大会女子800m第3位

櫻井 優 中央中2年
平成29年度北海道中学校体育大会
第47回北海道中学校卓球大会男子個人第3位
櫻井 大地 中央小6年
全道杯平成29年度北海道卓球選手権大会兼全日本予選会ホープス男子個人第3位
北道 湧斗 文京台小2年
全道杯平成29年度北海道卓球選手

権大会兼全日本予選会バンビ男子個人第3位

澤谷 光 大府西小6年

第20回北海道小学生相撲選手権大会小学6年生男子第3位

山本 桜旺 中央小5年

第13回東北・北海道ブロックジュニア武術太極拳競技大会女子初級長第3位

渡辺 玲花 江別第二小4年

第14回北海道小学生インドアソフトテニス選手権大会4年生以下女子の部準優勝

堀内 絢香 封庫小4年

深見 和花 上江別小4年

第14回ルーセント杯全道選抜小学生ソフトテニスインドア大会4年生以下女子の部第3位(ベエ)

亀田 凜 上江別小4年

第14回ルーセント杯全道選抜小学生ソフトテニスインドア大会4年生以下女子の部第3位

酒井 陸杜 中央小3年

第14回北海道小学生インドアソフトテニス選手権大会4年生以下男子の部第3位

浪田 衛 大府泉小2年

第24回北海道新体操大会新体操小学男子二種目の部第3位

澤田 実世 大府泉小1年

第55回北海道空手道選手権大会小学一年生女子組手の部第3位

第37回少林寺拳法北海道大会団体演武小学生の部優秀賞(第2位)

江別剣道連盟

第28回北海道中学生剣道錬成大会女子団体第3位

Siegr GクラブCチーム

第24回北海道新体操大会新体操女子小中徒手団体の部第2位

上江別ブルードリームス

2017 FIGHTERS BASEBALL CHAMPIONSHIP U-12準優勝

大府泉ラモーズ

バレーボール少年団

なながまど杯第23回北海道小学生バレーボール大会男子の部準優勝

江別中央ジュニアバレーボールスポーツ少年団「江別中央ガッツ」

第15回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会準優勝

江卓会

第29回北海道ホープス卓球大会ホープス男子団体準優勝

SONIC

北海道ドッジボール選手権大会B組小学生高学年部門ファイターの部第3位

神風クレインズ

北海道ドッジボール選手権大会B組小学生高学年部門ファイターの部第3位

神風クレインズ Jr

北海道ドッジボール選手権大会2017小学生低学年部門ファイターの部第3位

BEEFAST Jr

第27回全日本ドッジボール選手権北海道大会チャレンジ部門低学年ファイターの部準優勝

事業名：ヤング・子育て相談事業

生涯学習課 青少年係

政 策	06 子育て・教育	戦 略	
取 組 の 基本方針	02 子どもの教育の充実	プロジェクト	
		プログラム	
開始年度	昭和55年度	終了年度	—
	区分1	継続	区分2
	単独	補助金	

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

手段（事務事業の内容、やり方）

専門員（カウンセラー資格取得者）による相談業務及び青少年の健全な育成を目的とする家庭教育の推進等を行う。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

相談することによる悩み・不安の軽減、解消。

指標・事業費の推移

	区分	単位	27年度実績	28年度実績	29年度予算	30年度予算
対象指標 1	市民	人	119,587	119,250	119,250	118,979
対象指標 2						
活動指標 1	すばっとケア派遣日数（平成29年度から）	日	241	245	232	242
活動指標 2	相談員数	人	9	10	10	15
成果指標 1	すばっとケア相談延べ人数（派遣相談者受付分）	件	6	7	163	263
成果指標 2	子育て・ヤングテレホン相談件数（平成28年度まで）	件	126	140	0	0
事 業 費 (A)		千円	895	884	940	933
正職員人件費 (B)		千円	1,553	1,534	1,541	1,931
総 事 業 費 (A+B)		千円	2,448	2,418	2,481	2,864

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
30年度	江別市適応指導教室「すばっとケア」への専任相談員派遣 家庭教育ナビゲーターの養成 家庭教育への支援	すばっとケア派遣における謝礼 726千円 相談員スキル向上を目的とした研修旅費 42千円

改革案（2月時点）		改革方向性（コスト）		
30年度への改善方向性	専任相談員の派遣は、すばっとケアに通級する児童生徒への対応向上に寄与しており、教室開催日数の増加に併せて派遣日数も増加を検討する。	減少	維持	増加
維持				○
見直し				
新規				
休止				
廃止				
その他				

なんでも話そう！

いく えべ育カフェ

平成29年9月3日(日)13:00~16:00

生涯学習フェスティバル 場所：野幌公民館（体験ブースコーナー）

参加無料 キッズスペースあり～絵本・工作などであそべます！

ひとりでも、お子様といっしょにでも子育て中の方どなたでもお気軽に参加ください。
えべ育での子育ては高校生までを対象にしています。

例えばこんなことはないですか？



最近いうこときかなくて困ってる…

友だちとトラブルになってないか心配よね



ゲームばかりで勉強してないようだ…

うちの子って変？それとも大丈夫？

イライラして子どもにあたっちゃうの、いけないとわかっているんだけど…

こんなこと聞いても大丈夫かしら？

泣きたくなる気持ち…聞いてほしい



だれに相談したらいいのかな？

思春期って難しい…

えべ育カフェには、さまざまな専門的知識を持った家庭教育ナビゲーターがいて
皆さんをお待ちしています。

心の中にためこまないで気軽にお話しませんか？

参加している皆さんがホッとできる時間を一緒に過ごしましょう！



主催：江別市教育委員会

江別市家庭問題研究会（江別市家庭教育ナビゲーター）

